

7 - 1 用水路の断面検討例

項 目		現 況	配慮レベル1	配慮レベル2
水路構造		三面張りコンクリート	二面張りブロック積み 護岸：コンクリートブロック積み(1:0.5) 底：土	二面張りブロック積み 護岸：コンクリートブロック積み(1:0.5) 底：土
環境配慮条件		現況水路 魚類の生息に適する流速 0.5m/s の空間がほとんど無い	最多頻度流量時の流速を 1.0m/s 程度とし、現状より広い魚類等の生息空間を確保する	最多頻度流量時の流速を 0.5m/s 程度とし、さらに多様な生物の生息空間を確保する
粗度係数		護岸：0.015 底：0.015	護岸：0.016 底：0.030	護岸：0.016 底：0.030
水路勾配		1/1,000	1/1,000	1/5,000
最多頻度 流量時 (4.4m ³ /s)	流速	流速：1.49m/s	流速：1.0m/s	流速：0.50m/s
	合成粗度係数	0.015	0.025	0.027
底幅・水深		水路底幅：3.0m 水深：0.98m	水路底幅：4.0m 水深：0.99m	水路底幅：7.0m 水深：1.16m
最大流量 時 (7.0m ³ /s)	流速	流速：1.69m/s	流速：1.17m/s	流速：0.59m/s
	合成粗度係数	0.015	0.025	0.026
底幅・水深		水路底幅 3.0m 水深：1.38m	水路底幅：4.0m 水深：1.29m	水路底幅：7.0m 水深：1.52m
断 面 図				

- ・ 現況の計画最大流量、流速は国営事業における用水路の平均的な値
- ・ 工事比率の算出では仮設工事費は考慮していない
- ・ 工事比率の算出においてレベル2の落差工は考慮していないため実際には工事比率はさらに上昇する